

目 次

巻頭言

.....広 瀬 憲 三 (i)

論 文

NP be Comp の構造の主語 NP と

補語 Comp の対応関係八 木 克 正 (1)

OCACCS 仮説に基づく英語虚辞構文の分析田 中 裕 幸 (19)

越境のカニバリズム.....伊 藤 正 範 (37)

—ヴィクトリア朝のトラベル・ナラティブに見る文明の再規定—
リマッピング

新樂府と仙霓社.....藤 野 真 子 (55)

—崑劇伝習所出身者の民国期上海における上演活動—

コロナ禍での大学の言語教育に対する

教員および学生の評価.....柿 原 武 史 帆 (77)

—オンラインおよび対面授業について—

アクセント段階拍説とその残余.....阿 部 卓 也 (97)

—G. W. フィンク「拍子、拍子の種類とその性格について」と

G. ノッテボーム「ベートーヴェニアーナ」—

“These People Are Not Your People”島 貫 香 代 子 (115)

—『サンクチュアリ』における人種問題と階級問題—

中英語文学における “wring one’s hands” に

ついての一考察.....渡 辺 拓 人 (133)

—中英語ロマンスとチョーサー作品を中心にして—

使徒言行録における命への μετένοια木 原 桂 二 (151)

—使 11:18 の積義的研究—

年譜・著作目録